

原発をなくす全国連絡会連鎖学習会”第8弾”

「高レベル放射性廃棄物の 処分問題と原発再稼働」

～日本の頭脳である日本学術会議が原発再稼働に注文～

福島第一原発の現状は収束どころか、放射能汚染水が増え続け、コントロールできない非常事態が続いています。また原発事故の原因の究明もされていません。ところが安倍政権は、原発の新しい規制基準を満たしているとして、鹿児島県川内原発をはじめ多くの原発の再稼働を急いでいます。

しかし、2014年9月に日本学術会議から、原発から出る「核のごみ」(高レベル放射性廃棄物)の処分問題をあいまいにしたままの原発再稼働は、「将来世代に対する無責任を意味するので、容認できるものではない」という内容を含む報告が出されました。まさに日本の頭脳とも言える日本学術会議が「原発再稼働に注文」をつけました。そこで、報告書を作成した分科会の委員であり、親委員会の委員長でもある今田高俊氏をお招きし、高レベル放射性廃棄物の処分問題について、その現状と問題点、今後の課題などについてお話いただきます。是非多くの方の積極的な参加を呼びかけます。

日時:2015年2月25日(水) 18:30～20:30

会場:全労連会館2Fホール (文京区湯島2-4-4)

アクセス:JR 中央線「御茶ノ水駅」・丸の内線「御茶ノ水駅」下車 徒歩7分



講師：今田 高俊氏

(日本学術会議高レベル放射性廃棄物の処分に関する

フォローアップ検討委員会 委員長)

参加費:無料

講師紹介：1948年4月兵庫県神戸市生まれ。[日本学術会議連携会員](#)。1972年東京大学文学部社会学科卒、88年東京工業大学工学部教授を経て、現在、東京工業大学名誉教授。[日本学術会議・高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会 委員長を務めた。](#)

主催：原発をなくす全国連絡会

連絡先:全日本民主医療機関連合会

TEL:03-5842-6451 担当:稲原、木下興

